

庄内空港開港の経緯

酒田市 辻 孝樹(二十七回卒業)

庄内三十三万人の悲願である「公聴会」が開催された「庄内空港」は、各界関係者・地元住民の理解と協力により、ようやく工事着工の運びとなりました。

公聴会の意見も取り入れられ、昭和六十二年八月二十日、庄内地方は、高速自動車道も飛行場もなく、産業・経済・社会面等各分野での格差を余儀なくされてきました。

これら状況を踏まえ「陸の孤島からの脱却」をめざし、故前田蔵先生を会長とした期成同盟会が中心となって「百円募金運動」や「署名運動」を全市民を対象に実施したのです。

この運動が、国・県を動かした調査費等が算定され、また候補地も十九地区の中から、五十七年に現在地に決定されました。

その後、昭和六十二年五月に、運輸省による建設許可申請告示が行われ、同年六月十六日には酒田総合文化センターにて傍聴人四百五十人の集

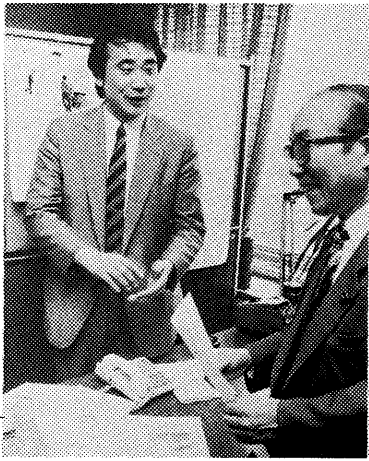
現在酒田町には公私合せて三千人を超すという国会議員秘書がいるといわれています。その活動の舞台には、かつて中国人の国会議員秘書が誕生した。

白家瑤(バイ・ジャヤオ・男性)さん(三十一)がその人。白さんは北京外国大学日本語学部を卒業し、中国語国際交流協会に所属している日本語教育の専門家。

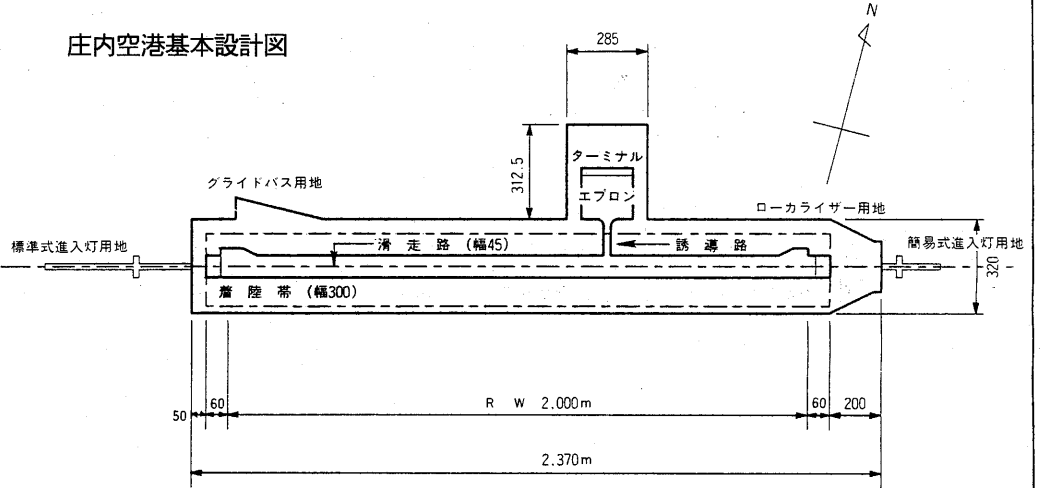
その中国語国際交流協会と相互交流を実施している日中青年交流センターの招きで来日した。今回の来日は、円高や地価高騰による下宿代の値上げなどで苦悩している中国人留学生の生活の実態を調べたり、国会や官公庁が集まる霞ヶ関をみて日本政府が留学生の問題にどう対応しているかを実際に見聞するのが目的。

用地造成工事(土量四百万)は、六十二年(六十四年、滑走路)は六十四年、ターミナルビルは六十四年設計、六十五年着工、その他照明・管理塔等全ての工事が六十六年十月までに完成し、その後フライトチェックを行い、六十七年四月一日より開港となります。

事業費については、全体で四百億円と見込んでおり、その内訳は、本体が二百五十億円、県単独事業三十六億円、線地周辺整備百億円、アクセス道路十億円と計画されています。



庄内空港基本設計図



西荻中央病院

院長 村上富吉 (昭和九年卒業)

病院 杉並区西荻北二一五五
電話 三九六一一八
自宅 杉並区高井戸二一六三九
電話 三三三九六六

中国人の私設秘書を招いて

阿部昭吾議員は友好の礎として中国人の身元保証と生活の安定問題に腐心し、その解決に努力を払っている。

そんな観点から中国人秘書の印象を語っていただいた。私の国会事務所には中国の国際教育交流協会の白家瑤さんという青年が、三月間、私設秘書として滞在しました。私は十年前から日中青年交流センター顧問として、特に中国からの留学生の身元保証などをお世話してきました。白家瑤さんは留学生の身元保証調査にやってきました。

日中友好は極東アジアの平和と安定にとって、正にカナメであることは言うまでもありません。

かつて第二次大戦の終局後、当時の中国指導者、蔣介石総統、周恩来総理たちが若き日、日本留学生であり、親日家であったことが、どれほど日本にとって賠償問題や敗戦処理を寛大に運ぶことになったかは歴史に特記される進めて行く所存です。

活費をかせぐのにきつうきつうとしており、円高で本国からの仕送りはほとんど無意味。おしんのようになんか意欲がないと日本語を覚え、進んで、生活することは困難で、勉強と生活の両立はむずかしいと思うと印象をもらしている。

日本人の業務態度の中で、中国人にとって一番理解しにくい点は「残業」ということ。何故か残業した時間内に処理できなかった仕事を当日に残ってやらなければならないのか、その点に不満をもつ中国人が大多数で、そこに日本人との労働価値観のちがいがあ

では森島外、芥川龍之介、など興味をもち感情的にも共通する点が多く、良く理解でき、その紹介にもつとめてい

現在日本に居る中国人留学生は約一万七千人で、うち約一万人は就学ビザで日本語学校で勉強中の留学生予備軍。白家瑤さんはこの中から約百五十人を調査して、在日中国私費留学生の現状と題するレポートをまとめ、中島文部大臣に要望書として提出した。

この中で学業と生活の両立という問題のほか、一番大きな悩みは来日する際の借金の返済や、大学入学金などのお金と言葉、つまり「2K」だということと述べている。

大きな夢を抱いて来日する中国人に、日本にあればどう

阿部 昭 吾 (昭和三年卒業)

千代田区水戸町
電話 五〇八七四
山形県酒田市東町二一七六
電話 〇三三三二七〇六

酒田市長

相馬 大作 (昭和三年卒業)

山形県酒田本町二丁目一四四
電話 〇三三三二七〇六

板橋区議会議員
山形県人会東京連合会
理事

佐藤 悦彦 (昭和七年卒業)

自宅 板橋区成増四二八五
電話 〇三三三二七〇六

日刊工業新聞社相談役
褒章クラブ会長

白井 十四雄 (昭和五年卒業)

自宅 世田谷区北沢三三三二
電話 四六八〇〇七四

金子 智一 (昭和七年卒業)

世田谷区上祖師三二二五
電話 四八三二〇八七

曾根原 重郎 (昭和八年卒業)

板橋区加賀一〇八二
電話 九六一五二二六
自宅 電話 〇四八四(七七)〇六四一

セイコーエフソン株式会社

取締役社長 中村恒也 (昭和十五年卒業)

〒三九二長野県諏訪市大和三丁目三番五号
電話 〇二六六五二二二二代表

株式会社 梓設計

取締役社長 北村総一 (昭和九年卒業)

品川区西五反田二二七三
電話 四九一三五九一

竹内六郎氏(五回)死去 元副会長

畏兄竹内六郎君を憶う

土門 退蔵(五回卒業)



戦後の東京亀城会再建の主
力メンバーであり、初代会長
梅津八重蔵氏、二代目会長小
松直幸氏、三代目会長斎藤栄
治氏を補佐し、当会隆盛の礎
を築かれた、前筆頭副会長、
元東洋カーボン常務取締役の
竹内六郎(たけうち・ろくろ
う)氏は、昭和六十二年三月
二十八日、肝臓がんのため、川
崎市立井田病院で死去されま
した。享年七十五歳。遺族は
同級生からの通知がなかつた
ため、会としては葬儀にも
参列できませんでした。ここ
に一年半過ぎた本号で生前を
偲び追悼させていただきます。
明治四十四年十一月七日、
酒田市の名門、竹内家の六男
として生れ、昭和四年酒田中
学校卒業(五回)、旧制山形
高等学校(理科甲類)東北帝
大(理学部化学科)を卒業、
日本タール入社(現在三菱
化成)、企画第一部長、関連
会社の東洋カーボン常務取締
役で定年退職、三菱化成OB
会の結成に活躍、同時期、東
京亀城会再建にあたりても、
名簿の作成、会則の制定など
に努力された。

どんな契機で、頭脳も知能
も大差のある善の竹内君と親
しくなったのか分らない。
なのに、松平(佐藤)君と竹
内君には一年から五年まで親
しくしていた。彼が東
北大理学部化学科に入学した
時などあ然とした。何故なら
彼は、文化系の方だと信じ
ていたからである。

彼は中国古典をよく読んで
おり、中国古典は「経世済民」
(政治)と「応対辞令」(人
間関係)の本で忘れない言
い方をすれば庶民を相手にし
ない社会の指導者たちに人
間形成の糧として読まれてき
た本を推薦し人の指導的立場
になるなら、中国古典を研究
して見ろ、などと言っていた
事が頭にあったからだ。当時
僕はドストエフスキー「罪と
罰」「ゴッロー」「外套」チェ
ーホフ「櫻子の園」プーシキン
の詩などロシア文学に夢中
な変な奴であったことであ
る。

彼から贈ってくれた本の中
には、「現代庄内人物名鑑」
や「西郷南州」がある。彼の
南州と庄内の関係について力
説するのを目に残している。
僕が昭和十六年に、國家総
力戦になる戦争に日中戦争に
手を焼いている日本が、自國
のGNPのほぼ三倍のアメ
リカに戦争を挑んだ当時の戦
争推進者を罵倒し警察に検挙
された。その際、一番先に慰
問の書翰(しょかん)も彼だ
った。なんでも、「自己の信
念の吐露によるもの、以てめ
いすべし」など書いて来た。
又昭和五十八年の僕の叙職

三回はかり催したが、その都
度、三菱の東郷の運動部寮の
一室を借りて下さって、愉快
な宴会が出来たり、何くれと
なく面倒を見てもらったので
あった。

また、氏は余り多弁ではな
いが、中学校での先生達の逸
話なども豊富に知っており、
他面、武術に対する故事来歴、
先考の影響で、棋にも造詣
深く、酒の間に出来る言葉
に驚かされたものである。

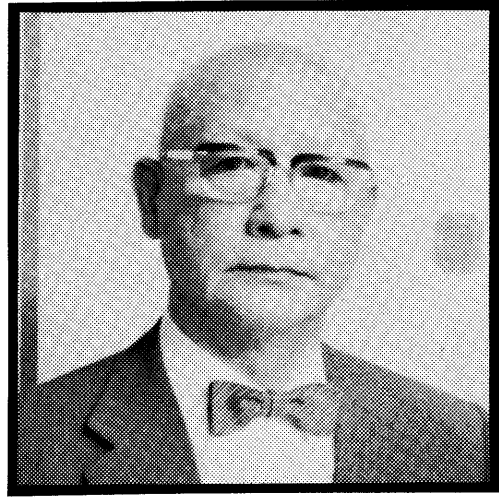
竹内六郎さんとは、はじめ
の出会い、東京亀城会の総
会であることは確かだがいつ
だったかの記憶はつきりし
ない。竹内さんは歯に衣を着
せないでものを言う人だった
ので、周りに多少敬遠されて
いることがあった。私も言
いたいことを言う方なので、
少し変わった奴がいるものだ
と思われたらしい。そう言っ
て、竹内さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。



竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんを憶う

山本 宏(六回卒業)



山本宏「六さんが亡くなっ
たよ。」という加藤君の声
があったのである。

が、受話器の向うから伝って
来るのを、放心した様に聞い
てから、何か随分月日が過つ
た様な気がした。いつも昭四
会の会合には欠席されたこと
はなかったのに、この二回は
かり、体調がすぐれなかった
り、入院されたとかの通知が
あったのである。

当時、御兄弟四人共、剣道
をやっておられたが、皆、夫
々一流の使い手で、竹内道場
の名を恥かしめず、その家柄
と相まって、我々とは、全然
格の違いを感じさせるものが
あった。

私は、三年生の夏から、竹
内道場に通ったが、当時の竹
内道場の名は、東北六県に知
れ渡り、名だたる中等学校か
ら入部した者が、剣先でチヨ

三回はかり催したが、その都
度、三菱の東郷の運動部寮の
一室を借りて下さって、愉快
な宴会が出来たり、何くれと
なく面倒を見てもらったので
あった。

また、氏は余り多弁ではな
いが、中学校での先生達の逸
話なども豊富に知っており、
他面、武術に対する故事来歴、
先考の影響で、棋にも造詣
深く、酒の間に出来る言葉
に驚かされたものである。

竹内六郎さんとは、はじめ
の出会い、東京亀城会の総
会であることは確かだがいつ
だったかの記憶はつきりし
ない。竹内さんは歯に衣を着
せないでものを言う人だった
ので、周りに多少敬遠されて
いることがあった。私も言
いたいことを言う方なので、
少し変わった奴がいるものだ
と思われたらしい。そう言っ
て、竹内さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

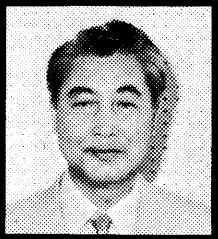
竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

竹内六郎さんとは年一回の総会
だけしかお会いしなかったが
寂しさを覚えた。酒を飲んで
は、逆説を言っていた。若人達
にハッパをかけていたのだと私
は解釈している。

東清株式会社 取締役表 金湖東吉 (昭和五十年卒業) 大田区大森北一五五一 電話 七六一七七七八	株式会社 開発ピーアール社 取締役表 五十嵐儀勇 (昭和五十年卒業) 中央区新川一四四十二 電話 五五二一八三八七 宅電 電話 〇四七三(五)六三二七	佐々木整形外科病院 院長 佐々木 章 (昭和六十年卒業) 青梅市師岡町三一五九 電話 〇四八(四)二九九	市原地所株式会社 取締役表 菅原義郎 (昭和五十八年卒業) 千葉市原市五所一七五 電話 〇四三(一)四二七九 FAX 〇四三(一)四二七九	中央管財株式会社 取締役表 松田 勇 (昭和五十年卒業) 本社 中央区日本橋人形町三二一七 電話 六三九〇五二三 千代田区三番町七一五 電話 二六一〇六九二	東清株式会社 取締役表 金湖東吉 (昭和五十年卒業) 大田区大森北一五五一 電話 七六一七七七八	株式会社 開発ピーアール社 取締役表 五十嵐儀勇 (昭和五十年卒業) 中央区新川一四四十二 電話 五五二一八三八七 宅電 電話 〇四七三(五)六三二七	佐々木整形外科病院 院長 佐々木 章 (昭和六十年卒業) 青梅市師岡町三一五九 電話 〇四八(四)二九九	市原地所株式会社 取締役表 菅原義郎 (昭和五十八年卒業) 千葉市原市五所一七五 電話 〇四三(一)四二七九 FAX 〇四三(一)四二七九	中央管財株式会社 取締役表 松田 勇 (昭和五十年卒業) 本社 中央区日本橋人形町三二一七 電話 六三九〇五二三 千代田区三番町七一五 電話 二六一〇六九二
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

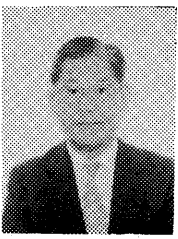
常任理事 斎藤浩三氏(二十回卒業)



昭和六十二年五月十七日、胃がんのため、東京都お茶の水書院病院で逝去。昭和二年三月十七日、海部郡松崎町出ノ十八ノ二七。喪主は長男圭介氏。

斎藤浩三君を偲んで

北村 総 一(二十回卒業)



東北大学工学部の大学院を卒えて上京、三井金属に入社されたが、拙宅に来られた時、用意したスキヤキの肉が、安い固い肉で申しわけなかったと、家内と時々思い出話をしたりしていたのである。

今年の正月、東京亀城会の新年会に出席した後、会場近くの小料理屋に二人だけで席を移した時に、彼に対して「つた」を今でもはつきりと覚えていた。

彼は体調が必ずしも十分とはいえないといっていたが、私は「僕は三十年間銀行でこきつかわれ、引続き設計事務所番頭役で貧乏暇なしの毎日をおくっているが、それにひきかえ、君は大学教授として七十才の定年までマイペースで自分の好きなことが出来るし、まして女子学生相手では長生きもするだろうし、まったくうらやましい」といったものである。彼も「そういえばそうかも知れない」といっていたが、私も彼は絶対に長生きすると思っていた。

それだけに奥様から亡くなったとの電話をいただいた時、あまりにも意外なので愕然とした。

思えば、彼は酒中で同級、私が東京で結婚した翌年に、

(はじめに)

第三卒の佐々木(旧姓本田)求己(正)新居区改訂町の名利伝久寺住職が旧臘十一月廿四日肺炎で亡くなった。享年七十八歳。

氏は私の入学した大正十五年には野球部の名キッシーでキャプテン(神長氏は三塁手)黄色い声でチームを引締めた名物男であった。市谷本慶寺の二男坊で京都の大谷大学に進み、浄福寺出身の総子夫人と共に昭和十四年に新居区久寺に迎へられた。爾来五十年間開運の住職として徳望を集め、本堂並会館の再建に成功された。

本葬は十二月十一日に行われ誠に盛大であった。亀城会からは神長精一(四)松平藤太郎(五)加藤文吉(六)菅原藤也(七)が参列した。

(二)佐々木求己のこと。

庄内昔今

菅原藤也 (昭和六年卒業)

佐々木さんは酒中時代は本田姓でニックネームを「ビー」といった。この由来は「求己」の本名を略して呼び易い「ビー」になったものだといふ。私は佐々木先輩と名刺を交換して飲をくした。

鳥海俊士と仲がよく五年の時、天正寺町の私共の下宿に「ビー」さんが遊びにきた時は、私は一年坊主でよく使い走りさせられた。

私が松山町の産、酒造り酒屋に長生きすると思っていた。三男坊に生まれ、長身の美男子、性温厚にして、さぞかし女子学生憧れの教授であつたと思われ。

しかし、その彼も今は亡。最後に会った今年の正月の彼の思い出を偲びながら、ご冥福を祈るのみである。

と一八歳、弘前師国工兵隊と輜重の混成隊隊主計少尉で漢口の北方二八〇料の場子江岸刑場に駐留していた。野戦部隊の為、乗馬をあてがわれていたものの寝泊りする所は爆撃跡を片づけた残骸への暮舎張りで馬並の居住水準であった。但し職業柄毎月一回漢口の軍経理部から前渡金率の任務があり護衛隊でトラックに分乗出張という特典があった。偶々十二・六・午前中漢口市街地に入り「山形県人会館」なる大立看板を雑貨店頭に目し、トラックを止め照会した。県人会館の慰問の為中華料理を提供しようというので軍人さんは会費不要の故に是非出席してほしいとの耳の話し。護衛隊の中に山形県人は一人もいないので、私一人が出かけた。

この街頭邂逅で加藤菅原の両名はお互いを確認しあい、更に前日の県人会館上での佐々木先輩との邂逅を告げ、加藤氏に「行かへ先ず別れてもらい、これから佐々木氏に表敬すべく洋車を駆って第一軍情報部を訪ねた。

ここで加藤氏の当時の来漢由來に触れる必要がある。加藤氏はあの時局下の最高エリートで千駄谷の興亜錬成所の研修員であった。ここはいうまでもなく興亜院主宰の官民幹部の再教育機関(十三ヶ月)である。

氏は東京外語の支那語科を出て満鉄入りをし、戦争勃発と共に華北交通に派遣され、更に会社より将来の占領地行政担当要員として現地政治経済産業の講義を受けると共にミソギや座禪で絞られた揚句占領地視察旅行(三ヶ月)に來たという次第であった。

私はホテルに帰ったのは夜中三時すぎだったが一寝入りした処で兵站将校に起こされた。

十二月八日宣戦布告の朝で、当時の漢口の在留邦人は二万を越えていたが治安は決して良いとはいえず、夜間の単独外出は将校であればある程危険とされていた。

私は佐々木さんは多少の支那語は話すけれども何れも兵隊用語であるからブロークン極まりない。そこへ柔道五段で言葉は自由といった文ちゃん(於日本橋会館)の席で、佐々木さんが「回顧〇〇年」として述懐談をなさるに大變喜ばれた。(私も若干補足陳述をした)

この時佐々木さん曰く「菅原君！俺は兵隊だから単独外出はできない、今晚一番君の酒中面をしていようぞ！」と激賞された。

つ。というのは旧臘僧正の本葬に参列し、控の会館から新本堂に赴くに当り、広い廊下の壁際に併置された数多くの書架とその冊数に私は圧倒された。氏がこれ程の蔵書家であり、読書人であることに今さら故人への追慕の念を新たにした。と同時に、氏のご存命中に森敦氏の作品につき、ご意見を拝聴しておかなかつたことを痛恨した。

昨年私は、原稿において森氏の「我れ近頃の如く」を諸公の一処士横議を期待した。私個人は購入したものの、一読してその低俗卑猥の表現に呆れ果て巻を放り出したからである。

お陰で五六軒梯子したが一杯きし召してからは三人肩を組み「ああ見よー鳥海七千余尺」を放歌高吟し、繁華街の耳目を衝動せしめて深更に及んだ。

私がホテルに帰ったのは夜中三時すぎだったが一寝入りした処で兵站将校に起こされた。

十二月八日宣戦布告の朝で、当時の漢口の在留邦人は二万を越えていたが治安は決して良いとはいえず、夜間の単独外出は将校であればある程危険とされていた。

私は佐々木さんは多少の支那語は話すけれども何れも兵隊用語であるからブロークン極まりない。そこへ柔道五段で言葉は自由といった文ちゃん(於日本橋会館)の席で、佐々木さんが「回顧〇〇年」として述懐談をなさるに大變喜ばれた。(私も若干補足陳述をした)

この時佐々木さん曰く「菅原君！俺は兵隊だから単独外出はできない、今晚一番君の酒中面をしていようぞ！」と激賞された。

以上佐々木求己追悼の意から記述したが、原稿の目的はもと別の分野の視点に立



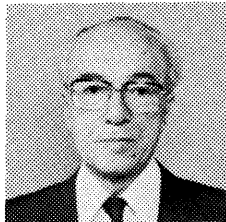
右から松平藤太郎、菅原藤也、神長精一、加藤文吉、故佐々木求己の諸氏。昭和60年2月伊豆稲取温泉にて

歴史と農業の専門書出版 株式会社 弘生書林 取締役 佐藤 弘一 (昭和十七年卒業) 東京都千代田区神田神保町一六〇 連絡先 株式会社 精華社 電話 (三三) 四〇三三 自費出版の方は相談下さい	株式会社新(あたらし)鉄筋工業所 取締役 金山 義雄 (昭和二十八年卒業) 川崎市麻生区片平五六一九 電話 (四四) 八八八五 自宅 電話 (四四) 八八八五 電話 (四四) 八八八五	昭和二十八年卒 酒田東・西高校 東京二八会	昭和二十九年卒 酒田東・西高校 東京ふくの会	昭和三十年卒 酒田東高校 東京支部名簿	酒田地区高校同窓会 東京支部名簿 酒田東高校 幹事長 丹 呉 雄 治 事務局 堀 建築設計事務所 電話 (四〇) 四八〇六	昭和三十二年卒 酒田東高校 東京32会	昭和三十五年卒 酒田東高校 東京珊瑚会	遊・湯・境 高湯温泉 鳳・山・本・シ・ヨ・ン 0245-911401	加藤外科医院 院長 加藤 信吾 (昭和二年卒業) 品川区大井一四二一〇 電話 七七一五 一六八	内 山 敬 司 (昭和四年卒業) 東京都世田谷区中町三一四一六	木村病院 院長 木村 謙一 (昭和五年卒業) 板橋区中丸二二一三 電話 九三九三 一一一	真空器械工業株式会社 取締役 成田 敏雄 (昭和九年卒業) 品川区南大井三一二六 電話 七二一七 八一一	株式会社アメリカ屋靴店 取締役 伊藤 憲三 (昭和二十年卒業) 大田区平和島六一一一 電話 七六七一 五五二 自宅 電話 四四二二 〇八八	富士テレビ株式会社 取締役 佐々木 猛 (昭和五年卒業) 電話 三三八一 〇六九 自宅 電話 九五一八 二六二	佐藤トローリ株式会社 取締役 佐藤 知章 (昭和五年卒業) 本社 荒川区東日暮里五一三五一 電話 八〇七三 一八九二
---	---	--------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	--	------------------------------------	------------------------------------	---	--	--	---	---	--	--	---

関東学院女子短期大学教授 マサカ小児科医院院長	医学博士 真坂孝二 (昭和五年卒業)	横浜市戸塚区川上町五六〇 電話 〇四五(八三三)七八六六	村井クリニック(内・小・消) 東邦大学医学部非常勤講師	医学博士 村井昌允 (昭和六年卒業)	習志野市花咲一十一 電話 〇四七(四七七)六二七一	サン・アルミニウム工業株式会社 (アルミニウム箔の製造販売)	取締役 生稻彰允 (昭和八年卒業)	港区海岸一十九 電話 〇三四(三七三)二二六	日本ユニシス・ソフトウェア株式会社	専任取締役 斎藤哲夫 (昭和十八年卒業)	新宿区馬場下町一一 電話 二三(一五五)一一	株式会社ティ・エー・シー企画 代表取締役 青麻弘之 (昭和三年卒業)	総合広告代理業 月刊コンピュータ・ダイジェスト 台東区台東一丁目三番五号(武田ビル) 電話 〇三(八三三)四三三(代表) FAX 〇三(八三七)四三三	相続税・贈与税 申告・納税相談 税理士 佐藤靖 (昭和三年卒業)	〒336 埼玉県浦和市太田五十七 電話 〇四八(八八五)二七六 FAX 〇四八(八八五)二八一	相馬法律事務所 主任 相馬功 (昭和三年卒業)	事務所 港区虎ノ門一五二六 電話 〇三(五九三)四一六六 FAX 〇三(五九三)三五八八	端山皮膚科医院	端山伸子 (昭和三年卒業)	所沢市緑町三一四一 電話 〇四三(九二八)五八八	兄弟自動車ボディ修理工場	代取締役 渡辺武 (昭和三年卒業)	神奈川県大和市中央一六 電話 〇四六(二六六)八六二五
オリジナル浴槽製造元 有限会社 カイト	取締役 阿部博 (昭和三年卒業)	練馬区向山二一 電話 九六一〇六五〇	東京都職員共済組合 青山病院小児科	医 長 大滝千佐子 (昭和三年卒業)	病院 渋谷区神宮前五三三 電話 四〇〇(七二一)一七八	小口内科	院長 小口邦子(旧大谷) (昭和三年卒業)	杉並区成田西一三三 電話 三六(八五七)七	講談社出版販売	代表取締役 阿部尚記 (昭和三年卒業)	新宿区新小川町九二五 電話 二六(七七〇)一一	株式会社 設計集団 東京設計室	伊藤正治郎 (昭和五年卒業)	渋谷区鶯谷町七一七〇 電話 四六(四一五)三五六	屋内・外電設工事全般 大功電設工業有限公司	取締役 後藤功記 (昭和五年卒業)	三鷹市大沢二一九 電話 〇四三(三三三)三六三	スプルス・ミヒバ 米松・タモ 造作挽立材 有限会社 萩原商店	取締役 吉泉征勝 (昭和九年卒業)	〒136 東京都江東区新木場二九一 電話 〇五(二二七)八二二 FAX 〇五(二二七)七八二	イフストレター	阿部明 (昭和四年卒業)	元木徹 (昭和四年卒業)

酒田よ、ありがとう (1)

佐々木勲次郎 (昭和八年卒業)



先日、酒田の同期生、前田郁郎君から電話を頂いた。千葉県の市川にいらしているというのである。それは、とばかり船橋で待ち合わせ、食事をしながら四時間ほど語り合ったことである。卒業以来初めての対面である。お互い、七十三の年輪を数え、戦中戦後の苦勞を重ねてきただけに、額の皺は隠しようもないものの、自然に湧いてくる庄内弁で喋っているうちに、童顔が蘇ってき、何十年の時間の空白を感じさせない。正に「有り難き方」の来たる。亦「酒田の誇り」の感慨に浸り切ったときであった。家に帰ってもなかなか興奮がさめないで、酒田時代の思い出の幾つかをメモに書きとめることにした。

① 嬉しかった酒田合格
酒田の入試がどんな形式でどんな内容だったかについて全く記憶がない。ただ、健康な人間の平熱は何度かと言った問があたり、私には「三十七度」と答えながらどっか不安だったのだ、そのことを帰郷後誰かに話したら「ばか。三十六度とか三十七度五分とかねばだめだもん」とやられたことだけは頭のどこに残っている。

② 異質の文化にふれる
汽車通学の車中で最初に感動したのは吹浦駅手前の風景である。湯の田を過ぎると間もなくトンネルに入るのだが、出て直ぐの右に江があら、これが絵のように美しい。私は往きも帰りもずっとこの風景を眺めながら歩いていた。この吹浦は湯と酒田のほぼ中間点に当たるのだが、吹浦駅を出ると車内の空気がガラリと変わるに驚いたものだ。

③ 学校行事のいろいろ
あの頃学校にはいろいろな行事があった。その一つの修学旅行では、北海道南部を巡った。函館の湯の川トラピスト、室蘭の製鉄工場、登別温泉などへ行ったような気がする。トラピストの庭園に置かれたマリヤ像、院内から聞こえてくるラテン語のミサの音は、仏教のお寺とは全く違うエキゾチックなもので、これまたショックであった。

④ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑤ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑥ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑦ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑧ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑨ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑩ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑪ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑫ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑬ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

里を離れて出かけた最初のカルチュアショックだったかも知れない。

③ 学校行事のいろいろ
あの頃学校にはいろいろな行事があった。その一つの修学旅行では、北海道南部を巡った。函館の湯の川トラピスト、室蘭の製鉄工場、登別温泉などへ行ったような気がする。トラピストの庭園に置かれたマリヤ像、院内から聞こえてくるラテン語のミサの音は、仏教のお寺とは全く違うエキゾチックなもので、これまたショックであった。

④ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑤ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑥ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑦ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑧ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑨ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑩ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑪ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑫ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑬ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑭ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑮ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑯ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑰ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑱ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

⑲ 全生徒対象の講演会では三つだけ頭に残っている。一つは清水徳太郎先生、演題は覚えていないが、丸くてエネルギーを感じた先生が壇上を右や左に歩きながら「人生は結局毎日の積み重ねです。どうかそれぞれの持場を大切に、今日一日を悔いなく生き抜いて下さい。青春は二度と参りません」という意味のことを手を振って強調

中国及び台湾の旅行事情

乙坂 進 (昭和十年卒業)



昨年暮れから今年の正月迄の五日間に中国の上海・蘇州・北京を旅し、更に今年の三月末の五日間台湾縦断旅行をして来ましたので、両国を比較しながら、見聞して来た事情を思い付け備述して見ましよう。

まず、政治体制は御承知の通り中国は共産主義で、台湾は自由主義であるので、中国では案内人及びホテルの従業員は「兌換券」と言っても一般

民とは別の通貨を使用することになっていて(レートは同じ)買い物は一般人が入れない友誼商店に限られている。レートは二角が五十円位、台湾では此の様な別別は無く、レートは一元が五百円位で日本円でも買い物出来るので楽である。

土産物は両国共殆ど同じであるが、中国蘇州の刺繍(特に大連刺繍)は有名、台湾は大理石細工に特徴がある。絹織物・象牙細工・ヒスイ・メノウ・サンゴ等は日本より安い。

中国は台湾を開放しようとしているが、現在の体制では中々難しいと思われる。将来は香港・マカオの様な政治体制を残した儘の合併になると思われる。

東京亀城会総会のお知らせ
昭和63年10月21日 (金曜日)
午後6:00より
会場 スエヒロ 築地店
◎詳細は10面にあります。

「し」というものであった。体も小さく、気も小さい私が柄にもなく生憎なことを言ってしまうと、散々野次られた。良い体験だったと思っている。

あの当時「中央座」と「酒田館」という映画館があった。そこで学校主催の映画観賞会

ない少年にとって、酒田の映画館は若くは女の人もいた。映画館はすぐ立派にみえた。もったいぶったのは生のきなカルチュアショックであった。

今思えば、昭和十一年の少年時代、朝六時一分の汽車で毎日酒田に出、学校まで三十分の道を往復したこと、個性豊かな先生がたの指導を受けたこと、学校の図書

室で後藤静香の本の幾冊かめくりあうことができたこと、義務的な日記を書かせられたこと、西田薬局さんのような温かな家庭のお世話になったこと等々が私の人間形成にどれだけの役に立っているか分らない。古希を迎えては三年、感謝一ぱいの頃である。

理事は、会長権限により委嘱されたが、各人の承諾をえて次の通り決定した。

新役員名簿
会長・副会長をのぞく旧役員は六十二年度任期満了となつたため、会則により常任

第二回卒、同級会を昭和六三年六月二十七日・二十八日に松嶺(鮎海郡松山町外山口)で開催しました。

参加者一六名、晴天に恵まれて自然の美しさを一望のうちに収めることができました。

恵れた自然と名勝史跡、悠々たる最上の流れ、秀峯島海山、雲峯山・羽黒山、総光寺(約六百年前)、城下町の夜景、山門・資料館、阿部次郎碑

民とは別の通貨を使用することになっていて(レートは同じ)買い物は一般人が入れない友誼商店に限られている。レートは二角が五十円位、台湾では此の様な別別は無く、レートは一元が五百円位で日本円でも買い物出来るので楽である。

土産物は両国共殆ど同じであるが、中国蘇州の刺繍(特に大連刺繍)は有名、台湾は大理石細工に特徴がある。絹織物・象牙細工・ヒスイ・メノウ・サンゴ等は日本より安い。

中国は台湾を開放しようとしているが、現在の体制では中々難しいと思われる。将来は香港・マカオの様な政治体制を残した儘の合併になると思われる。

通貨は中国では外国旅行者は「兌換券」と言っても一般人

は「兌換券」と言っても一般人

は「兌換券」と言っても一般人

室で後藤静香の本の幾冊かめくりあうことができたこと、義務的な日記を書かせられたこと、西田薬局さんのような温かな家庭のお世話になったこと等々が私の人間形成にどれだけの役に立っているか分らない。古希を迎えては三年、感謝一ぱいの頃である。

理事は、会長権限により委嘱されたが、各人の承諾をえて次の通り決定した。

新役員名簿
会長・副会長をのぞく旧役員は六十二年度任期満了となつたため、会則により常任

第二回卒、同級会を昭和六三年六月二十七日・二十八日に松嶺(鮎海郡松山町外山口)で開催しました。

参加者一六名、晴天に恵まれて自然の美しさを一望のうちに収めることができました。

恵れた自然と名勝史跡、悠々たる最上の流れ、秀峯島海山、雲峯山・羽黒山、総光寺(約六百年前)、城下町の夜景、山門・資料館、阿部次郎碑

ふるさとの香り、木の香り……
本格木造分譲住宅
自由設計の家
同窓生の方、県人の方には特別会員として、住宅建築及びご購入の際には特に優遇させていただきます。

文化放送、TBSラジオ、埼玉テレビのCMでおなじみの
●住まいのコンダクター
設計 株式会社 鈴木建工務店
TEL 03(974)2805(代)

建設大臣免許(3)第3053号
販売 株式会社 スズケンホーム
TEL 03(974)2805(代)

本社・東京都板橋区弥生町28-10
TEL 03(974)2805(代)

本社・東京都板橋区弥生町28-10
TEL 03(974)2805(代)

本社・東京都板橋区弥生町28-10
TEL 03(974)2805(代)

北區田端新町一―二一五
高垣ビル四〇二
電話(八九三)六三〇七

回想

内山敬司(十五回卒業)



日中戦争で戦病死した父の五十周年忌の法事を営むという事で、五月の末に酒田に帰った。時々帰郷することはあるものの、酒田を離れてから既に四十年を経過している。

一泊目にはホテル東急インを退いた。駅のすぐ近くのホテルに投宿するというのは「ふるさと」に帰ったというイメージにそぐわない。駅に近いという点も余計に「ふるさと」を感じさせないことになる。

夕食は外でということ、フロントが教えてくれた「寿司勢」という店の暖簾をくぐった。寿司を握って貰いたく、昔は酒田の住人であったことを告げて昔の酒田と今の酒田を何となく比べてみようとした。坊主頭にねじり鉢巻の板前が小生が住んでいた家の真向かいに終戦後出来た寿司屋で修行したのだというが、時間のずれで内山という名前さえ分らない。

経過年数を考えれば当然である。それにしても話が通じにくくなった大きな原因は町名の変り方がひどいことにある。お互いに何処の話をしてるのかわからないのである。寺町が寿町であり、小生は内匠町であったが、今は中町二丁目になってしまっている。昔の事柄は町名と離れにくく結びついていることが多いので、何ともまどろっこしく、がっかりしてしまふ。幸いに隣合わせた人とは年令が板前

な通りになっているが、昔は道路の真ん中にトラック建ての長屋が連なり、両側に向かって、お寺参りに来た時はかならずそこに寄って食べたことを思い出した。お寺の建物については、本堂と位牌堂は比較的新しいが、それ以外の所は昔のまま、がっしりと落ち着いて、我々に重みと安らぎにふれた思いで、緊張感がとれて、昔の自分にもどったような気分になってきた。これが今度の帰郷の収穫かなと思つた次第である。

翌日の法事は菩提寺の妙法寺で行われることになっていて、散歩がてら歩いた。妙法寺の境内は昔とすっかり変わらないうえ、安堵感を与えてくれる。供養の終わった後は今ま保たれているのは、旧寺町の方から入って、石段を上ったから脇道の辺までの空を覆いかくすように両側から伸びる大木の枝が重なり合っている。午後四時の帰郷の時間まで。

有焔会(酒田西高)東京支部総会

母校は創立九十周年

七月三日正午から東京・千代田区JR中央線四ツ谷駅前、代田区J中央線四ツ谷駅前、西高同窓会(若林会長と共に出席。会長のご夫人は西高先輩、私も同様なので、初めての出席。同様の席で、初めは、招待に応じ出席させて頂いた。女子高の同窓会なので当然



森副会長より酒田西高は本年五月二十八日に創立九十周年を迎えたため記念式典、記念講演の模様を紹介され、また百周年記念のビジョンとして校舎の移転新築などの事業も報告された。

塚本校長先生の話によれば、四年後からは全国的傾向の高校進学適齢生徒減少は、酒田、飽海地方も例外ではなく、長期的な対策を必要とし、同地方でも進学高校は一校のみとハイ・グレードな施設と教育を必要とする意見もあると披露された。

女子高同窓会だけにグレイシャスな会の進行で、全員諸姉の独唱、合唱と盛り沢山の余興と、運営幹事苦心の、くじ引き、郷土産物の直売、など、参加者全員大満足のうちに散会となった。

東京亀城総会には数年前から、小野会長初め幹事の方々の出席頂いているが、六十三年度には、今後ますますの交流をという意向が両会にあるので、本会総会に、本年と来年度の有焔会当番幹事の方々にも出席をお願いして、懇親会を辞した。(事務局 阿部鉄一)

酒田商業東京同窓会に出席して

新宿三井ビル五十四階にある「新宿井クラブ」で、去る七月一日開催された酒田商



鶴翔・如松合同同窓会に出席して

去る六月十九日午後農林年金会館の中にある「虎の門パストラル」で五年毎に開催することになっているという右記同窓会が開催され、佐藤副会長と共に招待されて出席した。参加者五百人を超える盛況で、男性よりも女性の参加者の方が遙かに多かったよう

この日の企画で秀逸でもあり皆々を驚かしたのは、羽黒山の山伏の登場であった。白地に濃紺で模様染めた特異の装束をした二人の山伏が吹く法螺貝の音が広い会場一杯に轟き、しばらく会場は静まりかえって聴き入った。その独特の音は皆々の郷愁をかきたて、色々の回想を誘うことにはなはだ効果的で、東

母校教頭後藤隆先生の来賓にもお会い出来、郷里が近くなった感じがしました。祝辞の中で「昨年は創立八十周年を迎えて商業教育の伝統を継承しつつ更に一層飛躍すべく日々精進し、着々とその成果を上げつつある」との母校の意気込みを披露され満場おしなない拍手を送って頂きました。

本年度総会執行幹事となつて

来る一〇月二日、恒例の東京亀城会が開催されます。仄聞しますに、五八年頃から、開催年の末尾数と同じ卒業生のものが幹事となります。本年度は我々三三三(三三三)卒業生がその当番幹事の中

と云う事で、同期が集まるに当たり、何年かお互いに御無沙汰していた者同士が、急遽、その趣旨を説明しながら連絡し合ったわけですが、各人の都合の有無もあって、当初この人集の自体が結構大変なことでしたが、幸い多数の同期が積極的に参集して下さい、一度しかありませんが、郷里の美酒に酔つぽんに、同郷や先輩上がった顔も直ぐに懐かしい童顔に戻り、今では、多数会員への通知状発送などの仕事を分担して楽しくやっております。

東京亀城会総会のお知らせ
昭和63年10月21日(金曜日)
午後6:00より
会場 スエヒロ 築地店
◎詳細は10面にあります。

本年度は多数の会員が出席されて、同郷の会を盛り上げてもらいたいものです。(三三三回生 相川俊明)

庄内の名産品を直送します

昭和60年度東北清酒鑑評会 金賞 受賞

吟醸 上喜元

清酒一級 1.8L	1本 1,870円
二級 1.8L	1本 1,380円
蔵酒一級 1.8L	1本 2,160円
二級 720cc	1本 1,400円
吟醸二級 720ml	1本 1,590円
	1本 1,000円
	1本 2,000円

直送お問合せは：酒田市日吉町2丁目3-25 TEL.0234-22-1541

酒田酒造(株)

●酒田から直送します。お申込みは下記へ。

小野 実千夫 (昭和29年卒)



小野米穀店
山形県酒田市北新橋1丁目19-4
電話(0234)22-0243



酒田多招 善兵衛 ぶきどば

サッカー部よりの報告 斎藤秀夫

はじめに
昭和40年の県大会優勝以来、地区内のチーム数も増え、県全体でも50近くになってきている。東京・メキシコオリンピックがサッカーの普及に大きな役割を大いに果たし、果した役割は大きいと言えよう。

かつて、酒東、新北、米興、山東、鶴岡と各地区の基幹校に鶴岡、山工といった工業高が絡む試合展開であった。今では、67団体をひかえて、酒東、新北、米興、山東、鶴岡、山工といった工業高が絡む試合展開であった。今では、67団体をひかえて、酒東、新北、米興、山東、鶴岡、山工といった工業高が絡む試合展開であった。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。



酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

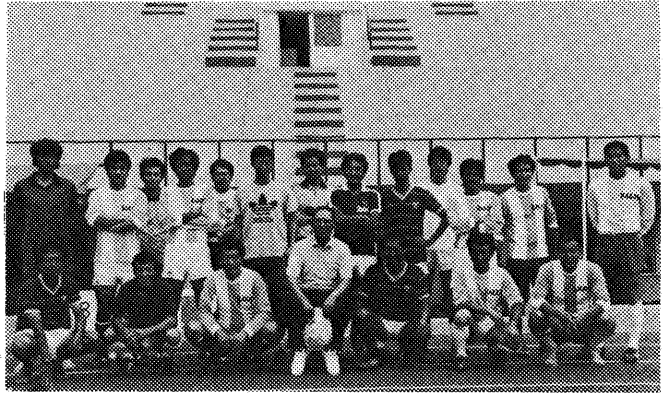
酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

母、校運動部

充分勝機ありとみた。実際に押し込みであったが、終了した時1対1であった。延長に入り、前後半とも決め手なく0-0。ついにPK戦である。最後のキッカー、酒東は、多くのOBに支えられている。私自身の教え子もそろそろ卒業で、共にサッカーが出来ると思うと、この上ない幸せを感じている。



(中央) 斎藤研治後援会長、右隣り田中雄一コーチ、前列左端、筆者

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

酒東の戦いぶり
部員は30名で、今は3年生が抜けて20名弱である。中学時代にサッカーをしていたのは7名である。

OB組織もあり、社会人チームとして、酒東OBクラブ、サンデーキッカーズ、小松守真印刷クラブはその主力が酒東で占められている。

野球部 残念。準決勝で敗退。山形県予選。対長井二、二回勝利。対米沢興業、二回勝利。対米沢中央、二回勝利。

バスケットボール部。対米沢中央、二回勝利。対米沢興業、二回勝利。対米沢中央、二回勝利。

保存版
まさかのときのご相談は、同窓生の皆様へ

●特許申請のご用命は 鈴木特許事務所 鈴木 淳也

西上尾上林眼科 院長 上林 茂

今井隆雄法律事務所 弁護士 今井 隆雄

堀内證券 取締役社長 和嶋 茂男

光と影の調和を追求する商品写真 And Photography 代表 本宮正幸

宴会・商談・マージャンに 活魚料理 はな

真坂 歯科医院 目黒区自由ヶ丘 1-8-20

京町 歯科医院 川崎市川崎区京町 1-17-1

堀 法律事務所 主任弁護士 堀 廣士

